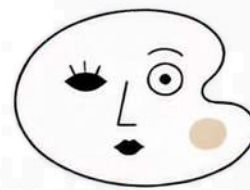


「～ながラー」企画 アートン・ラボ ～心ととのう週末のアトリエ～

おとなの ずここのじかん



アートン・ラボ



ARTON LAB♡

ピカソが見た「顔」・自分の「顔」

—今のわたし & これからのわたし—

～「フランス近代絵画の祝宴」～

大人のためのアートイベント

- 日時 2026年11月14日（土）13:30～15:30（受付13:15～アトリエ）
- 場所 岐阜県美術館 アトリエ・庭園
岐阜市宇佐4-1-22 TEL:058-271-1313
- 参加費 無料※展覧会観覧券が必要です。
（受付前に館内にて観覧券をお買い求めください。）
- 持ち物 絵の具を使いますので、汚れてもよい服装でお越しください。
庭園内の作業もありますので、お持ちの方は軍手・虫除け剤をご持参ください。

定員

15名

対象

18歳以上

要申込

先着順

企画展「フランス近代絵画の祝宴」内のピカソほか著名な画家の描いた「顔」を鑑賞したあと、自分でも描きたい「顔」をお皿に描いてみましょう。
最後は作品を庭園の樹に吊るして、その風景の前でトークを楽しみます。



詳細・申込：岐阜県美術館 公式サイト

ピカソが見た「顔」・自分の「顔」

見る → 描く → 庭園へ → 語る



庭園では、作品を樹に吊るし、インスタレーションをします。
風によって、作品の表情も景色も変化します。



活動の流れ

1

観る（鑑賞・発見）



対話型で作品や表情を見
つめ、語り合います。

2

描く・遊ぶ
（自由に表現）



お皿に、自由に顔を
描いてあそびます。

3

飾る・ひろがる
（庭園インスタレーション）



みんなの作品を庭園に飾り、
ひとつの作品に。

4

話す・つながる
（自由にシェア）



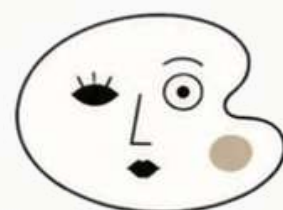
新しい発見や気づきを
共有します。

「～ながラー」の

アートン・ラボ とは？【ARTON LAB♡コンセプト】

Art for play, play for life.
（遊ぶことは生きる力になる）

『アートン・ラボ』は、子どもの頃の図画工作のように、週末、無心になって「作る」。
そして「あそぶ」ことを提案する「～ながラー」のグループです。
仕事や家事、人間関係など平日に少しずつ積もった疲れを、
週末、アートを通じて「心をととのえる」ことを目的としたワークショップを企画します。
美術館の展示を眺めるだけでなく、ときには庭園で作品を作ったり、
庭でインスタレーションをしたり、自分らしく遊び、自分と向き合う場所です。
正解はありません。絵心も必要ありません。
月曜日を少し軽やかな気持ちで迎えませんか。



アートン・ラボ

おとなが本気で遊ぶ。
週末、美術館があなたのアトリエになる。